

共同研究について

1. 題 目：三浦半島活性化プロジェクトの創造
2. 目 的：「都市近郊リゾート三浦の創生」を目指して、三浦半島を活性化するために、魅力的なコンセプトを作り上げる。
3. 概 要：ワークショップやフィールドワークなどの手法を組み合わせ、魅力的なコンセプトを創造し、そのコンセプトをもとに、人々を引き付ける三浦半島でしか体験できない“コト”を作り上げる。
4. 期 間：2017年4月17日～2018年3月31日
5. スケジュール

	内容	目的（成果）
①キックオフ 【時期：5月18日（木）】 【場所：東京大学】	<ul style="list-style-type: none"> ・趣旨説明 ・自己紹介 ・意見交換 ・魅力と課題の抽出 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の確認、共有 ・チームワーク組成
②フィールドワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・現地確認 ・ユーザー調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の具体化、深化
③アイデア発散	<ul style="list-style-type: none"> ・詳細な顧客像（ペルソナ）の設定 ・三浦半島の提供価値（体験・モノ） 	<ul style="list-style-type: none"> ・異文化専門家を交え、新しい視点、意見を発掘 ・魅力提供のストーリーづくり ・ターゲット像の明確化
④事例調査	<ul style="list-style-type: none"> ・競合地域、事例研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・顧客へのアプローチ方法 ・実質的な課題解決方法の検討
⑤アイデア収束	<ul style="list-style-type: none"> ・事例調査報告 ・「三浦半島を楽しみ尽くす1日のストーリー」作成、実行計画のとりまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンセプト・ストーリーまとめ ・全体の実行計画づくり

6. 研究メンバー

- (1) ファシリテーター（進行役） 東京大学大学院情報学環 安齋勇樹特任助教
- (2) 外部有識者（予定）
 - イ. 今和泉 隆行 ㈱地理人研究所
 - ロ. モリジュンヤ inquire inc. CEO
- (3) 京急グループの中堅・若手社員 10名程度

<参考>

安斎勇樹 特任助教 経歴

1985年生まれ。東京都出身。東京大学大学院情報学環 特任助教。株式会社 MimicryDesign 代表取締役。NPO法人 EduceTechnologies 理事。東京大学工学部卒業、東京大学大学院学際情報学府博士課程満期退学。博士（学際情報学）。

さまざまな産学連携プロジェクトに取り組みながら、企業や地域の課題を解決するための創造的なワークショップのデザインと評価の方法について研究している。

主な著書に「ワークショップデザイン論—創ることで学ぶ」（共著・慶応義塾大学出版会）、「協創の場のデザイン—ワークショップで企業と地域が変わる」

（単著・藝術学舎）がある。

企業との連携実績として、(株)KDDI 研究所、(株)NTT ドコモ、(株)インテージなど他多数。



以 上